

日本気管食道科学会より

『咽頭食道領域における悪性黒色腫の治療の現状』について

➤ 研究（調査）の目的と概略

咽頭食道領域に発生する悪性黒色腫は稀であり、定まった治療戦略がなく極めて予後不良な疾患である。この研究では咽頭食道領域における悪性黒色腫の治療の現状を把握し、予後の改善に寄与するベストな治療戦略を構築する。

➤ 研究（調査）の方法

日本気管食道科学会の認定施設において、2013年1月1日～2022年12月31日の間に咽頭・食道領域の悪性黒色腫と診断され治療が行われた症例のデータをアンケート形式で集積します。このアンケートのデータを解析することで、疫学的特徴、病態、治療や予後について調査・解析します。

➤ 研究（調査）の参加施設

日本気管食道科学会認定施設

➤ 調査期間

2013年1月1日から2022年12月31日

➤ 調査の対象となる患者さんへ

この研究は、咽頭食道の悪性黒色腫で治療を受けられた患者さんを対象に、カルテから得られた所見や診療経過のデータについてアンケートを行い解析するものです。アンケート結果は、個人が特定できないよう匿名化して管理し、個人情報を保護します。

➤ この調査への協力は任意です。

この調査に協力するかどうかは、患者さんの自由な意志で決まります。調査への協力を同意されなくても、患者さんに不利になることはありません。また、調査に協力することを同意した後でも、いつでも撤回することができますし、そのために不利益を被ることもありません

➤ お問い合わせ先

この研究は、日本気管食道科学会臨床研究委員会が研究事務局を担当しています。
研究責任者：佐伯浩司（群馬大学大学院総合外科学講座 消化管外科学分野）

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本気管食道科学会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-11 陽臨堂ビル2F
E-mail : jbes@kishoku.jp